

関東大震災から100年 ～次の震災時に情報をどう防災に生かすか～

日時：令和5年3月21日(火 祝日) 14時00分～17時00分

共催：日本災害情報学会

場所：国士舘大学世田谷キャンパス34号館3階301教室

国士舘大学防災・救急救助総合研究所

1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災は死者・行方不明者が10万5000人を超える明治以降最大の地震災害です。その災害から今年で100年となります。現在9月1日が「防災の日」となっているように、関東大震災は我が国の防災の研究や対策、それに復旧や復興のあり方などに多くの教訓を残す近代防災の起点といえる災害でした。日本災害情報学会と国士舘大学防災・救急救助総合研究所では、主に震災時の情報面での課題に焦点を当ててシンポジウムを開催します。

シンポジウムプログラム

14:00～14:10	開会の挨拶	片田 敏孝	日本災害情報学会会長 東京大学大学院情報学環・特任教授	(約5分)
		佐藤 圭一	国士舘大学長	(約5分)
14:10～15:10	基調講演テーマ	「関東大震災から100年 国難災害に至急、備える」		(約60分)
		河田 恵昭	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長 関西大学社会安全学部特別任命教授・社会安全研究センター長 元京都大学防災研究所長・名誉教授	
15:10～15:25	休憩			
15:25～16:55	パネルディスカッション			(約90分)
	パネリスト	関谷 直也 福島 隆史 中林 啓修 山中 麗子	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター准教授 TBSテレビ報道局 解説委員(災害担当) 国士舘大学防災・救急救助総合研究所准教授 元日本防災士会常務理事、元東京消防庁玉川消防署長	
	コーディネーター	山崎 登	国士舘大学防災・救急救助総合研究所教授	
16:55～17:00	閉会の挨拶	島崎 修次	国士舘大学防災・救急救助総合研究所長	(約5分)

お申し込み

お申し込みには、事前登録が必要です。右のQRコードからフォームにアクセスできます。

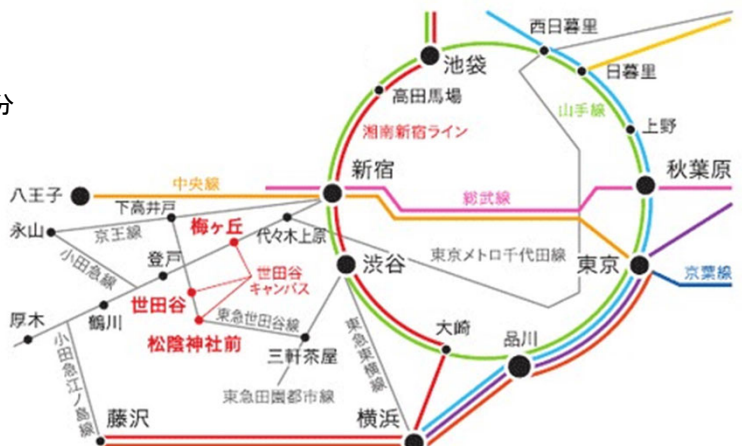
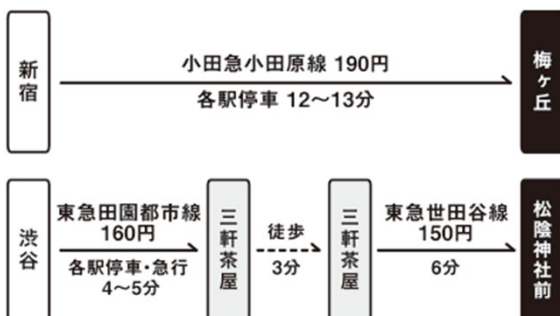
◆防災・救急救助総合研究所ホームページ <http://www.kokushikan.ac.jp/research/DPEMS/>



会場へのアクセス

国士舘大学 世田谷キャンパス
〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4丁目28-1

小田急線梅ヶ丘駅下車、徒歩9分
東急世田谷線松陰神社前駅または世田谷駅下車、徒歩6分



基調講演テーマ:「関東大震災から100年 国難災害に至急、備える」



阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長、関西大学社会安全学部特別任命教授・社会安全研究センター長、元京都大学防災研究所長・名誉教授

河田 恵昭

◆プロフィール

関西大学社会安全学部特別任命教授(チェアプロフェッサー)・社会安全研究センター長。工学博士。専門は防災・減災・縮災。現在、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長(兼務)のほか、京大防災研究所長を歴任。京都大学名誉教授。2007年国連SASAKAWA防災賞、09年防災功労者内閣総理大臣表彰、10年兵庫県社会賞、14年兵庫県功労者表彰、16年土木学会功績賞、日本自然災害学会および日本災害情報学会会長を歴任。

著書:「これからの防災・減災がわかる本」(岩波ジュニア新書)、「スーパー都市災害から生き残る」(新潮社)、「12歳からの被災者学—阪神・淡路大震災に学ぶ78の知恵」(共著)、(NHK出版)「津波災害」(岩波新書)、「にげましょう」(共同通信社)、「津波災害(増補版)」、「災害文化を育てよ、そして大災害に打ち克て 河田恵昭自叙伝」(ミネルヴァ書房)など

パネルディスカッション テーマ「次の震災時に情報をどう防災に生かすか」

パネリスト



東京大学
情報学環総合研究情報研究センター准教授

関谷 直也

◆プロフィール

1975年新潟生まれ。東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター准教授(災害情報論、社会心理学)。博士(社会情報学)。東京大学卓越研究員。東日本大震災、原子力災害伝承館上級研究員。福島大学食農学類客員准教授を兼務。主著に「災害情報」(東京大学出版会)「風評被害」(光文社)「災害」の社会心理」など。



TBSテレビ報道局 解説委員(災害担当)

福島 隆史

◆プロフィール

TBSテレビ報道局 解説委員(災害担当) 1986年TBS入社後、報道局に配属。社会部記者、JNN報道特集ディレクター、社会部デスク、JNNニュース編集長、JNN三陸臨時支局長などを経て現職。日本災害情報学会副会長、気象庁「防災気象情報に関する検討会」委員、日本民間放送連盟 災害放送専門部会幹事など



元日本防災士会常務理事

山中 麗子

◆プロフィール

元日本防災士機構被災地支援チーム統括監。1973年東京消防庁入庁(婦人消防官2期生)、消防学校で教官として救急救命士の養成に携わる。「東京消防庁災害時支援ボランティア」担当で1万6000人のボランティアを創設。玉川消防署長を歴任。



国士舘大学防災・救急救助総合研究所准教授

中林 啓修

◆プロフィール

慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科単位満了修了後、独立系シンクタンク、明治大学、沖縄県知事公室地域政策安全課、人と防災未来センター勤務を経て現職。専門は危機管理学。

コーディネーター



国士舘大学 防災・救急救助総合研究所教授

山崎 登

◆プロフィール

国士舘大学防災・救急救助総合研究所教授。静岡大学防災総合センター客員教授、人と防災未来センター上級研究員。1976年NHK入局、自然災害と防災担当の記者、解説委員、解説副委員長。2017年から現職。2018年 兵庫県功労賞(防災)、防災功労者内閣総理大臣表彰。著書に「防災から減災へ〜東日本大震災取材ノートより〜」(近代消防社)など。